

## 平成27年度 山内図書館の目標振り返り記入シート

この目標は「横浜市立図書館アクションプラン(第2期)」に基づいて策定しています。  
 [目標値]の数値は平成27年12月末現在、前年度数値は平成26年12月末です。

基本目標:市民の読書活動を支える地域の情報拠点

重点項目1 市民の読書活動を支える図書館				
地域特性に応じた読書活動の推進				
具体的取組	指標	目標値	実施状況	評価
区内の貸出施設のネットワーク作りを進める	青葉区役所と連携しての会議開催数	年2回(5月、7月)	5月と7月と合計2回開催	B
区内にピブリオパトルを普及させる	青葉区役所や図書貸出施設と連携してのピブリオパトル開催数	図書館会場:2回(前年度2回)、図書貸出施設会場:3か所以上、区役所を会場とした講座:1回	図書館会場で4回、図書貸出施設7か所、区役所講座1回	A
家庭での読書活動の支援				
具体的取組	指標	目標値	実施状況	評価
定例おはなし会、特別おはなし会を実施する	<1>定例おはなし会開催数 <2>特別おはなし会	<1>54回(前年度54回) <2>4回(前年度4回)	<1>54回 <2>8回	A
乳幼児と保護者が本に出会う場所作りとなる乳幼児向け読み聞かせ講座を開催する	講座開催数	9回(前年度9回)	9回	B
子どもの読書のきっかけとなる企画展示を実施する	企画展示実施数	2回(前年度3回)	2回	B
季節やトピックスに対応した展示コーナーを充実する	展示実施数	15回(前年度13回)	16回	B
学校への支援と学校教育への協力				
具体的取組	指標	目標値	実施状況	評価
学校司書をはじめとする教職員からの相談受付・支援に対応する	相談・支援件数	80件(前年度74回)	86件(98人)	A
図書館見学、職業体験を受け入れる	参加人数	見学500人(前年度704人)、職業体験のべ20人(前年度33人)	見学677人 職業体験(34人)	A
教職員向け貸出を実施する	貸出件数	100件(前年度130件)	200件	A
学校教職員、ボランティアを対象とした読み聞かせ・本の修理講座を開催する	講座開催数	14回(前年度16回)	20回	A
地域の読書活動への支援				
具体的取組	指標	目標値	実施状況	評価
団体貸出利用者向けの講座を実施する	講座開催数	1回(前年度1回)	12月に簡易修理講座を実施済	B
地域の親子の読書支援として読み聞かせ講座に講師を派遣する	読み聞かせ講座への講師派遣数	1回(前年度1回)	3回	A
団体貸出・グループ貸出をPRする	<1>メールマガジンでのPR回数 <2>図書貸出施設へのポスター配布(配布施設数)	<1>3回 <2>22か所	<1>3回 <2>図書貸出施設に12月に団体貸出ポスターとチラシ配布済	B

重点項目2 地域の情報拠点としての図書館

市民の課題解決と読書活動に役立つ資料の収集

具体的取組	指標	目標値	実施状況	評価
【課題解決機能の強化】 1,2,3,7,9類(人文科学分野および社会科学分野)に重点を置き、資料を補充する	買替を中心に参考図書 の充実	15冊	26冊	A
	基本書、概説書等の定番 図書の購入数	3類(法律)10冊 7類15冊 9類10冊	18冊 18冊 16冊	
【読書に親しむ機会づくり】 読書にまつわる資料を多角的に収 集する	ブックガイドや書評、読書 法、製本、読書アイテムの 作り方などに関する図書の 購入数	30冊	50冊	A
【非来館者へのPR】 区民まつりなど、多くの人が集まる 場所で寄贈を呼びかけ、図書館で 寄贈受付を行っていることを広める	一般書の寄贈受入数	1,500冊	1530冊	A
	郷土資料の寄贈受入数	420冊	475冊	
	外国語資料の寄贈受入数	80冊	89冊	
	児童書の寄贈受入数	280冊	374冊	
【安心安全】 青葉区の施策のうち「安心していき いきと暮らせるまち」に注目し、身近 に起こりうる災害、事故、犯罪など 様々なリスクを想定した資料を収集 する	様々なリスクの予防・対処 に関する図書の購入数	50冊	62冊	B
	様々なリスクの予防・対処 に関する児童書(紙芝居) の購入数	20点	21冊	
【児童への調べ学習支援】 自主的な調べものや、授業から派生 した調べ学習に対応した図書を充実 させる	新しい情報が掲載された辞 典類の購入数	5冊	7冊	A
	図鑑の購入数	20冊	39冊	
【子ども向け定番図書の充実】 資料を充実させ、子どもの読書意識 を高める	長く読み継がれている基本 図書の購入数 おはなし会で利用の多い定 番図書の購入数	120冊	252冊	A

資料の保存環境の整備

具体的取組	指標	目標値	実施状況	評価
正しい情報発信の場として不用品な資 料を除籍し、書架の新鮮度をあげる	除籍数	5,000冊	7646冊	A
地域の歴史等の資料の収集を図る とともに、書架の整理・整備を行い、 地域資料の有効活用を図る	<1>年度の古い行政資料の 書庫入れ <2>見出しの改善	<1>通年 <2>通年	書庫入れ・郷 土・青葉の書 架の整理と 見出しの改 善	B

資料の活用と情報発信

具体的取組	指標	目標値	実施状況	評価
Facebookを新設し、ブログと連動さ せてイベント情報等を公開する	Facebook更新数	20回	0回 次年度に「読 書活動推進」 用Facebook 新設予定	C
地域FMの青葉区広報ラジオ番組「 あおバリューRadio」へ出演、図書館 をPRする(青葉区役所と連携)	ラジオ番組出演数	7回	7回	B
ホームページの地域情報コンテンツ 「家族で楽しむ青葉区の歴史」を充 実する	散策コースを実際に歩き、 写真つきで紹介するレポー トの更新	2コース分	2コース分更 新	B

市民の学習活動・課題解決の支援

具体的取組	指標	目標値	実施状況	評価
大人のための調べ方講座を実施し、利用者のセルフケアのスキルアップを図る	講座開催数	3回(前年度3回)	3回	B
小学生のための調べ方講座を実施し、学ぶ力、知る喜びを高め、図書館利用促進を図る	講座開催数	1回(前年度1回)	1回	B
地域の課題やニーズを鑑みた教養講座や企画展示を実施する	<1>青葉区内大学との共催講座 <2>文学歴史講座 <3>企画展示	<1>2回(前年度2回) <2>4回 <3>5回以上	<1>2回 <2>5回 <3>8回	A
レファレンス事例を蓄積・共有し、館内研修等で活用することで、職員のスキルアップを図る	<1>事例のデータ登録 <2>館内研修	<1>随時 <2>1回	<1>過去の郷土関係事例を入力 <2>1回	B
<b>人材育成の推進</b>				
具体的取組	指標	目標値	実施状況	評価
司書業務技能を向上のための研修に参加し、専門性を高めると同時に総合的な対応力を身に付ける	中央図書館、神奈川県立図書館及び神奈川県図書館協会主催の研修参加数	15回以上(前年度15回)	17回	A
職員を対象に郷土資料・郷土情報の研修を実施する	郷土史家を講師に招いた研修会	2回	郷土史家招聘1回、外部講座参加2回	A
職員・アルバイトの全スタッフを対象に接遇研修を実施し、カウンターの対応を向上させる	接遇研修	1回(前年度1回)	3月に1回実施	B
ミーティングをもち情報の共有化とチームワーク力の強化を図る	<1>朝礼(全スタッフ対象) <2>職員会議 <3>役職会議 <4>職員・アルバイト代表会議 <5>アルバイト全体ミーティング	<1>通年 <2>毎水曜日 <3>隔月 <4>毎月休館日 <5>隔月	<1>通年 <2>49回 <3>6回 <4>12回 <5>6回	B

<b>重点項目3 誰もが利用しやすい図書館</b>				
<b>市民の意見を反映した図書館運営</b>				
具体的取組	指標	目標値	実施状況	評価
利用者フォーラムを図書ボランティア、地域の団体等と協力して開催し、山内図書館への意見や提案を運営に反映する	利用者フォーラムの開催数	2回(前年度2回)	9月、2月の年2回開催	B
来館者を対象としたアンケートを実施して、山内図書館の改善点を把握する	利用者満足度調査の実施	1回(前年度1回)	3月に1回実施	B
<b>山内図書館独自目標</b>				
具体的取組	指標	目標値	実施状況	評価
山内図書館の運営情報をホームページ上で公開する	<1>「事業計画書」 <2>「事業報告書」 <3>「利用者フォーラム議事録」 <4>「利用者満足度調査」 <5>「セルフモニタリング」 <6>「運営評価報告書」	1回(前年度1回) 1回(前年度1回) 2回(前年度2回) 1回(前年度1回) 1回(前年度1回) 1回(前年度1回)	<1>1回 <2>1回 <3>2回 <4>1回 <5>1回 <6>1回	B

山内図書館の目標振り返りについての区からのコメント(区が記入してください、公表はしません)

<p>今年度の取組について</p> <p>区の記入欄</p>	<p>区の読書活動推進目標の達成にむけ、学校司書や教職員、ボランティアに向けた講座の実施や、区内にビブリオバトルを普及させるため、図書貸出施設職員をはじめ、区民向けにも実施し、目標を上回る回数を達成できました。また、子どもの多い青葉区の特徴を活かし、読み聞かせイベントや児童への調べ学習支援にも力を入れることができました。さらに不要な資料を除籍し、書架の新鮮度をあげることができ、青葉区の目標である本にふれあう場づくりの充実を図っています。</p>
<p>今後の課題について</p> <p>区の記入欄</p>	<p>区内でのビブリオバトルが多く開催されるようになっていきます。今後ビブリオバトルを開催する施設が増える中、参加者を増やすために広報や企画のサポートに力を入れる必要があります。また、図書館をより多くの区民に利用してもらうために、図書館の取組の周知を充実させる必要があります。</p>

山内図書館の目標振り返りについての総合図書館コメント(公表用)

<p>今年度の取組について</p>	<p>地域の情報拠点として、市民の課題解決や読書活動に役立つ資料の収集を積極的に行い、ホームページやラジオ番組への出演とおして図書館からの情報発信にも努めました。区の読書活動推進目標の達成に向け、図書館において、おはなし会や読書に関連した講座を開催するとともに、区内の図書貸出施設や地域ケアプラザ、学校司書、学校図書ボランティア、読み聞かせボランティア等と協力してネットワークをつくり、読書イベントカレンダーを作成し、ビブリオバトルを区内に普及させました。</p>
<p>今後の課題について</p>	<p>区役所や区内の市民利用施設、学校およびボランティアと一層連携を図り、読書活動を推進させていきます。区内でビブリオバトルを開催する施設が増加しており、各施設に対する企画や広報のサポートに力を入れていきます。学校司書の配置が完了することから、各校への個別支援から切り換え、包括的な支援を行っていきます。幅広い市民に図書館を知ってもらえるように、図書館の広報を工夫していきます。</p>